市民とともにリニアのまちづくり④
ビジョン策定委員会幹事会での取り組み

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、リニアのまちづくりの取り組みの4回目として、ビジョン策定委員会幹事会の取り組み状況とくらしの知恵創作展のリニア賞受賞作品について紹介します。

問 リニア推進課（☎内線324）

幹事会の取り組み状況

幹事会は、9月までに3回開催され、策定委員会と同一団体から選出された実務者による協議が行われています。第2回からは、産業部会とまちづくり部会を設け、それぞれの分野で、リニアの波及効果を活かすためにどんな準備が必要か、そして、開業後、実際の波及効果を活かしてどんな取り組みができるかという視点で、議論・検討が行われています。

部会での議論の様子

各分野のご意見（一部）は表のとおりです。

10月の幹事会において、これまでの議論・検討事項をとりまとめ、ビジョン策定委員会への提案を考えています。

幹事会での各分野に対するご意見（一部）

全　体	• 豊かな自然、街道文化、伝統文化、伝統産業、人柄のよさ、日本の真ん中など他地域に伝えたい市のイメージを示す。
1．農業	• 市の農産品を生産から加工・販売まで一貫体制によって市の農業の活性化を図る。（6次産業化） • 農業の集約化により効率化を図っていくことが重要。
2．林業	• 森林の持つ多面的機能に着目し、観光と連動した取り組みを行う。
3．工業	• リニアのもたらす人的交流に着目し、当地に興味を持つ企業を把握する必要がある。 • 東濃地域の地盤の強さをＰＲすることが産業誘致に有効。
4．商業・サービス業	• 市の独自性を活かして中心市街地の賑わいを高めるべき。 • まちなかの商品に特徴をだし、駅の物産コーナーなどと棲み分けを行う。
5．観光	• 観光資源を磨き上げ、首都圏に対して市の認知度を高める。 • 市内を回遊出来るような仕掛けが必要。新たな開発ではなく、今あるものを磨き、足を運んでいただくことが重要。
6．地場産品	• 「日本一」をキーワードとして、栗きんとんなど中津川のブランド力を高めていく。
7．自然環境	• 残すべきもの、守るべきものを明確にし、行政が示す基本的なルールと地域別のルールを定めて守っていく。
8．歴史文化	• 市ゆかりの文化人や現在に残る伝統文化を多くの人に広め、観光との組み合わせも図りながら情報発信していく。
9．人づくり・人育て	• 小中学校の教育環境整備や大学などの誘致に取り組み、市の教育レベルを向上させていく。
10．住宅・住まい方	• 開業に伴い関連企業や研究機関の立地が期待されるが、単身赴任ではなく、家族とともに移住してもらうことが重要。
11．安全・安心	• 医療・保育など、若い世代・子育て世代に光をあてた取り組みや地域の人自ら関わっていく仕組みを構築する。
12．基盤整備	• 駅周辺の自然は当地の象徴として残しながら、リニア駅と幹線道路のアクセス利便性を高めるべき。

第3回 リニアのまちづくり ビジョン策定委員会開催

とき　11月5日(月)　14時～

ところ　健康福祉会館 4階多目的ホール

※傍聴を希望される方は13時30分～50分の間に会場入口で受付をお願いします。

（定員20人程度・先着順）

第37回くらしの知恵創作展 リニア賞決定

リニア中央新幹線まちづくり推進市民の会では、将来を担う子どもたちへのリニアプロジェクトの広報活動のため、今年度より創作展においてリニア賞を創設しました。受賞者は次の皆さんです。【敬称略】

リニア大賞受賞作品『プラリニア』

☆リニア大賞（1名）

杉山友梧（東小4年）

☆リニア賞（9名）

新川虎汰朗（杉の子幼年中）

鈴木陽晴（杉の子幼年長）

中村彰汰（東小1年）

内木理奈（加子母小3年）

小池陸斗（東小4年）

小林健丈（坂本小4年）

長谷川直輝（下野小5年）

氷室和亮（落合小6年）

鈴木涼太（阿木中1年）

入賞された皆さんおめでとうございます。

入賞作品はどれも未来への発想やアイデアや工夫に溢れ、力作揃いでした。（関連記事28ページ）

リニア中央新幹線

リニア中央新幹線に関することは市ホームページでご覧いただけます。

上記バナーをクリックしてください。